

## 座談会

# 大学生は小中高で憲法を

## どのように学んできたか

はじめに

明文改憲が大きな問題になるなかで、学校教育における憲法学習がどのように展開され、児童・生徒がどう受け止めているかはとても大切です。その辺を新潟大学教育学部の男女4人の学生に率直に語ってもらいました。Iさん(新潟・中条高 4年女)、Hさん(山形・鶴岡南高 4年男)、Nさん(山形・上山高 3年男)、Oさん(新潟・長岡高 4年女)。( )内は出身高校と学年・性別。

司会は小林朗さん(中学校教員)。(編集部)

はつきりおぼえていない憲法学習

司会：歴史教育者協議会編『憲法』(一部辞典的、二

部実践編)を紹介します。憲法学習は教員とりわけ社会科教員にとって大切で、みんな熱をあげて授業します。

Iさん：小学校6年次、中学校は「公民」、高校「政治経済」「現代社会」と3回憲法を学んでいる。大学では一般教養で「憲法」を学ぶ。小中高で学んだ憲法について覚えがありますか。

Hさん：憲法の学習は覚えていないのですよね。ぱっと出てこない。

Hさん：小学校の時習った憲法には記憶がある。教えてくれた先生(社会科の教師・30代後半の女)は反戦ということに相当力をいれ、学級文庫に「はだしのゲン」があり、9条のことに触れて「これは世界に一つだけの憲法だ」と言ったことを覚えている。中・高では何も覚えていない。

Nさん：中学校時代に「原爆の話」があったときに憲法に触れたと思ったんだけど、中身は覚えていない、思い出せない。社会科は苦手な分野だったのでそのぐらいいいか記憶がない。

Oさん：私も何も記憶がなくて、受験勉強での平和主義・国民主義とかは記憶している。高校では1年間政治経済を学んだが、その資料集に「新しい憲法の話」が載っていて戦争放棄のことが謳われていて、受験とかではなく無意図的に覚えていた。

司会：今の話を小中学校の先生方が聞いたら、涙・涙で、自分たちは憲法を一生懸命教えたという教師が多いのだが。小学校の先生の中には、社会科を一生懸命やる先生、理科を一生懸命やる先生がいたりして、教科に特化する先生が多い。Hさんが教えてもらった先生もそうではなかった？

編集部：受験が中、高で教える内容が決まるのではないですか

司会：それはどうか、試験には網羅的に出題されるからね。受験勉強としては、憲法を学習していたでしょ。Iさん：憲法について覚えるものとして受け止めていて、中身を考えようということではなかったから記憶

にもなかったのかな。先生がなにかを投げかけて訴えようとしたのではなくて、憲法のただ、ただ試験問題の穴埋めを埋める授業の一つという思いです。

Nさん：私も受験では憲法を学習しているはずなのですが、事実として入試の範囲の中であるからこれこれを覚えなさいと、中身について考えるということとはほとんどなかった。

司会：これでは憲法は危なくなる。足下から崩れる。憲法改正には若い人が、賛成してくれないと改憲派は困るわけで、若い人が憲法をどう思っているか政権与党にとつては非常に大きな問題なわけです。生徒たちは憲法の学習を身に付けたかどうかは、受験がおおきなウエイトを占めている。私は、中学3年生の夏休み公民の宿題として憲法の前文から98条まで書写させています。

編集部：あなた方の高校時代に今のイラク戦争は勃発していたと思いますが、憲法学習の時に重ねて考えることはありませんでしたか。

Hさん：ありましたね。小林よしのりの漫画で、あれがはやっていて、テストに南京問題がだされた時、僕は空白にして出した。イラクの問題と重ねて一緒に考

えてみようとその授業の世界史の先生が、平和の問題について語ってくれた。個々の教師によつて教え方が異なり、現代社会の先生はただ教えるだけでした。

○さん：私も現代史の授業がほとんどなく憲法の問題にまで触れるまでにいたらなかった。

司会：今は、現代史も入試センター試験にでる。世界史B・日本史Bは終わりまで教えるようになった。教師は憲法では9条の平和問題、健康で文化的な最低限度の生活を営むことを保障する生存権、基本的人権の尊重を大きく取り上げたいと考えている。高校では政治経済にこだわらないで世界史・日本史・もつといえ

ば国語とかで平和教育を取り上げるが。

○さん：国語の教材でもたまに平和に関わる詩や短歌が出てくる。社会科では生存権など25条から29条まで教科書に並んで触れていて理解しているが、中身までは立ち至らないで終わる。

司会：これらの問題の背景には加藤孝明氏（歴教協・千葉）などは受験による弊害があると説く。彼は、試験内容で統一テストのない学校に赴任する。テストは自分のテストと考えているから、討論による授業ができる。新潟・南・長岡・高田・新発田など進学校は共

通した同じ内容のテストを考え、行うので、教師の創意工夫しようとする授業を縛ってしまう。

教師は指導要領はよく見ていないが、これにもとづく教科書を教えている。市販のテストも含め教科書から出題される。受験から社会科をはずしたら、さあ面白い授業をやろううってなるかも。

ところで、みなさんは、教科書以外でこれまで憲法を意識して深く考えたことはありませんでしたか。

### 教科書以外で憲法を学んだこと

Hさん：中学校までの歴史の授業がおもしろくなかった。しかしゴーマニズムにはまって、これを読んで歴史つてすごいんだ、こういう見方もあるんだなあと思つてとても刺激的でした。日本は悪者ではないんだなということを伝えようとしたのです。

司会：学校の授業より小林よしのりのマンガの方が子どもたちが受け止めて、若者たちが静的状況から動的に動き始めた。歴教協の研究集会で報告したら、一番よく分かるといわれた。

小林のゴーマニズム歴史が間違っているとかどうか別に、若者たちが考え始めた。こうしたこと了我々

教師がどう受け止めているかが試されていると思う。非常に大きな問題はわれわれは啓蒙主義的で正しいこととは正しいと教えればいいんだと、しかしどうも子どもたちが同士の疑問を伝えあつて教師の言うことは聞いていないなあ。

Hさん：ゴーマニズムは僕のクラスの男子の間で流行つて、学年にまで広がった。今まで習ってきた歴史と内容がぜんぜん違つた見方で、煽るのがうまくて熱くなる。

Oさん：世界史ではなく、国語の時間に「はだしのゲン」とか「原爆詩」を読んでものすごく怖くて、しかし現実そこに人がいるのだという感覚を導く、ここに歴史を学ぶ意味があるのではないかと思う。歴史の肉付けをしているのだと思う。何年に何があつたという社会科はいやだつたが、この国語の教材は考えさせられた。

Iさん：中学校3年のとき「タコになつたお母さん」という国語の教材で、戦争で逃げる途中、あついていたという子どもに母が塩を塗つてあげる様子が描かれ、これがすごい印象に残っている。

Oさん：今でも中3年の教科書に使われている。私が教育実習で子どもたちに教えた「平和を築く」というカンボジア難民の話の読書教材でした。

Nさん：社会科は中学校のときから苦手だった。理科とか数学は自分の生活とつながつてくる部分を見つけると興味湧いた。歴史のように昔あつた話を一方的に聞かされても今の現実に生かす場もなかつたし、それを知つてどうなるという受け止め方で、勉強をしようとも知ろうともしなかつた。だから記憶にないのだと思う。大学ぐらいになると一般教養で憲法とか平和を考える講義があり、自分の考えをちゃんと持つている人と交わる中で自分の生活と関わっているのだと気づいた。自分にはどうでもよいなどと考えなくなると、歴史に興味湧いてくる。

Oさん：新聞の投稿欄なんか読むと8月には必ず戦争の問題が特集され、教科書と生活とがつながっていることがよく分かつてくる。

Nさん：社会科と生活とが結びつかないのは、自分たちが国を変えられるということがないからではないか、若者たちがワーキングプアの問題でもデモなどの行動を起こさないのは、自分たちが主権者だという意識や、自分の意見が反映されるということがないからではないか。

司会：韓国でもフランスでも生活に関わる問題になる

とよくデモをする。日本はこれだけガソリンや食料が値上げされてもデモにはならないのは何故なのか。江戸時代の方がよほど、民衆は動いていた。生活と密着していた。今の時代のはじまりは、1868年からの明治の時代が時代を規定しているのではないか。

司会：皆さんは、原爆資料館を見たことありますか。うちの娘（大学4年）が友だちと長崎の原爆記念館を訪れ見たら立ち往生したという。外国人などが立ちつくすほど社会科学の授業を受けるよりすごいものだ。若い人は多く訪れている。

Oさん：ヒロシマの記念館を訪れたとき半日がかりで閉館まで見ていた。一つ見ても怖くてこれを受け止められないのです。そこに何があっただろうって。受け止めるのに時間がかかった。

編集部：これ以外に小説とか、映画とかで憲法に関わる中身はありませんでしたか。

Oさん：大学に入ってから、三浦綾子の母とか灰谷健次郎とかの文学作品を読み始めた。

Nさん：市立図書館で勉強しているとき、社会科学の勉強がいやになり受験勉強そつちのけにして「はだしのゲン」を全巻読んだ。

司会：作者の中沢啓治の講演を聴いたとき、被爆を受けた人間の体のこの部分の肉はここで止まるなどと、ぶらぶらと歩く姿をたんと話し、身震いするほど事実を伝えることのすごさ・強さを感じた。なにも平和が大切だとか一言も言わないのに。

原爆体験や戦争体験を聞いたことはありますか。

Nさん：大学で原爆瓦を使つて原爆の恐ろしさや、原爆体験者と呼んでの話は気持ちとして伝わつて来た。自分がどう動き、何をすべきかは分からないが無関心ではないかと思つた。

Iさん：体験者の話を聞いたとき、自分の身や家族に置き換えて考えてみると感情が移つていくというか、もう耐えられなくなる。一方的に先生が戦争の話をされても自分にグツト迫つてくるものがなかったのかな。

Oさん：高校までは平和学習の教育を受けた記憶がなく、考えてこなかったと思う。アフガン戦争が始まったとき、飢えている子どもたちに投下される爆弾の様子を見て、この問題と自分と向き合うことはあつたが、やはり受験勉強が大事でした。

司会：小中高のとき受ける平和教育は、それなりに大きな刺激となるが、大学になると自意識が育ち、受け

る授業は大きなものを持っている。

### いじめ・差別と人権学習

司会：もう一つ大きな憲法の問題として人権学習がある。私はよく生徒に人権と人格が否定されたとき、大きな声を上げよと教えている。皆さんが教員になったとき、いじめとか体罰という一番大きな人権問題に遭遇する。そのときに憲法を分かっているといないと困ることになる。自分の人権ってなんだろう、人権を尊重するってなんだろう、人格ってなんだろうと、認識しているだけでもその対応が異なってくる。その側面からいかがですか。

Hさん：小学校の子どもを考えると、いじめられている子は勉強に集中できないなど学習権が奪われるので、急に人権とかいわれても分からないから、みんなが勉強できる機会があるのにその子はできないよねということから私はスタートすべきと思う。

Nさん：小・中学校のとき、自分のクラスにいじめられた子がいて、学校に来れなくなり、学級で問題にしたことがある。先生が止めさせようとして、いじめの原因を探ろうと子どもたちに聞く。クラスで浮いてい

るとかそれなりにいじめられる理由をいっても、いじめは悪いことだからやめろと指導するが、解決にはならない。今の自分にはそういう対応はおかしいと思っ  
ている。その子に学ぶ権利があるとか、人間として生きる権利があるとかという指導をきちんとすべきではないかと思う。

Iさん：小学校の時にいじめられたことが1・2回あって、先生から何があったのかと聞かれたが、いじめられる原因が分からなかった。友だち同士でごたごたがあったことを先生に話したらあとは私にまかせると。私には小さなことと思っていたが、その子はいつは担任にこびをうっているということが原因のようだった。次の日休んだが、母に勧められて翌日は学校にでた。ごちゃごちゃしていた図工の授業中教師の計らいでいじめの主犯格が私にあやまった。以後普通の関係になった。

司会：いじめの問題と向き合うのは、極めて憲法学習だと思ふ。教員が加害者・被害者を含め人権をどう尊重するか、どう対応していくか、その人の基本的人権の認識の違いが出てくる。憲法学習といわなくとも子どもの権利条約など、子どもの人権をどう考えている

かが見えてくる。

○さん：小中ではいじめられっ子で、一部のリーダ格から嫌われていた。担任はリーダ格に加わっていない子を私の隣につかせるというケアの仕方の対応でした。そのことをその友だちに聞いたときイラッとしました。私一人でも解決できるのに、ひとりでいるのはいやではないのにと。ひどいいじめを受けていた友達は毎日保健室通いでした。みんなでこのいじめの問題を考えあう機会はなかった。

司会：最近、中学校のいじめの問題に対応するとき、教師と子どもたちとの関係―人間関係―だけでは限界があると考えるようになった。生徒同士の人間関係をどう作るか、どう考えせるかがとても大切で生徒集団の質を高めることが求められている。教師は早く解決したいと気持ち先走るので管理的になるが、生徒の自治能力を高めるか、教師の人権感覚が問われている。教師自身は自由か、教育活動のなかで果たして納得してすすめているのかどうか、受験や慣習の縛りもあって納得しないうまますすめている現状がある。それとてでふりかえって考える必要があつて、皆さんから今日いろいろとお聞きしました。

(おわり)

原水爆禁止2008年世界大会に参加して(一)  
人類と核兵器は共存できない！核兵器はなくせると確信を与えてくれた若者と諸外国との交流

広島で開かれた原水爆禁止世界大会にはじめて参加しました。これまで、村上地区国民平和大行進の事務局を担い、他の皆さんに世界大会への参加を呼びかけながら、私は一度も参加していませんでした。今回私の所属する民間教育団体―全国農業教育研究会が島根県の石見銀山で知られる大田市で8月1〜3日に開かれ、翌4日の開会集会から始まる世界大会にタイミングがよく新潟県の派遣団員と合流する機会に恵まれました。

全国から会場一杯の6800人、しかも「継承と発信」をスローガンに、集う若者がものすごく多いのには驚きました。いつも私の参加する集会などには若者の姿は数えるほどいかなかったからです。

一人ひとりの患者を救う医師が一瞬にして多くの命を奪う核兵器を許してならないと、鹿児島医療生協から、医師になりたての青年6名全員の派遣にはビックリ。

(内山)